



国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター

PR No. : PR14050

プレスリリース

7月21日、スペイン マドリッド

国際観光：期待通りに力強いピークシーズン

最新の UNWTO 世界観光指標 (World Tourism Barometer) によると、国際観光の需要は 2014 年の最初の 4 カ月間、力強さを維持した。世界の国際観光客到着数は、2013 年通年と同じ伸び率の 5% 増となった。現在の観光のピークシーズンにおける予測では、2014 年 5 月から 8 月の間に国外を旅行する観光客は 4 億 6,000 万人を超えるとされている。

2014 年 1 月から 4 月の間、世界の目的地は、2013 年の同時期に比べ 1,400 万人増加し、3 億 1,700 万人の国際観光客 (宿泊者) を受け入れた。この 5% 成長は、2013 年の堅調な伸び (5% 増) とともに、UNWTO による 2010~2020 年 (3.8% 増) の長期予測を上回り、成長をより確かなものとした。

成長は、概ねすべての準地域に広がっており、国際観光客到着数は 4% またはそれ以上に増加している。地域別で最も力強く伸びたのがアジア・太平洋及び米州 (それぞれ 6% 増) となり、これにヨーロッパ、アフリカ (それぞれ 5% 増) が続いた。準地域では、北ヨーロッパ、南・地中海ヨーロッパ、北アフリカ及び南アジア (全て 8% 増) が著しく伸びた。

UNWTO タレブ・リファイ事務局長は、「好調な出だしを切った 2014 年および観光業界における全体的に楽観的な見通しにより、現在の観光のピークシーズンへの期待が高まり、先進及び新興諸国双方の目的地に恩恵をもたらす。」と述べ、「2014 年の初めの 4 カ月で 5% 増加した観光客が国境を越えたことは、観光部門への公的支援の拡大及び市場の変化に適応している観光関連企業の多大な能力を反映している」と続けた。

多くの目的地が成長を共有

アジア・太平洋（6%増）は、南アジア（8%増）と北東アジア（7%増）が牽引し、近年の成長をより強固なものにした。

米州（6%増）では、4つの全ての準地域において2013年比で大きく好転した。

世界最大の訪問先であるヨーロッパでは、4月までの国際観光客到着数で5%成長し、2013年の強靱さを維持した。北ヨーロッパ及び南・地中海ヨーロッパ（それぞれ8%増）が成長を主導した。

アフリカの国際観光客数は、北アフリカ（8%増）の回復がさらに強まり5%増加した。

中東の国際観光客到着者数は、4%の減少が予測されている。しかし同地域における限られた有効データを基に算出したものであるため、この数値の取扱いに注意しなければならない。

送客市場に関して、2014年前半期の国際観光支出に係るデータは、特に中国やロシア連邦、サウジアラビアやインドなどの新興国からの需要国における成長が強固であることを示した。さらに、先進市場発の需要は、経済情勢が徐々に改善されていることにより、イタリア、オーストラリア、韓国、オランダ、ノルウェー、スウェーデンからの支出が増加することで強くなっている。

現在のピークシーズンには、4億6,000万人以上の国際観光客到着者数が予測されている。

多様な指標が、北半球の夏のピークシーズンの強さを示唆している。4億6,000万人を超える観光客が、5月から8月の期間に国外を旅行することが予測され、これは年間国際観光客到着数の平均の41%を占める。

「The UNWTO Confidence Index」によると、今後の見通しについて、2014年5月から8月期は非常に楽観的であり、特に民間部門が持ち直し、ヨーロッパや米州、アジア・太平洋及び中東でのさらなる改善がこれを確かなものとしている。

ビジネス情報ツール「ForwardKeys」の国際航空旅行予約に関するデータは、5月から8月期の予約が前年同期比8%増加し、地域内及び地域間の旅行が共に強くなっており、この見通しを支持している。アジアの送客市場からの国際航空予約は、最も高い成長を記録し、これに米州（8%増）が続いた。

2014年全体の国際観光客到着数は、4%から4.5%の増加が予測され、これはUNWTOの2010年から2020年の長期予測である年3.8%成長を僅かに上回っている。

※本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。
世界観光指標原文（英語）は、UNWTO本部での準備完了次第、
下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。
<http://mkt.unwto.org/barometer>

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年6回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センターについて

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)
担当：藤永、藤井、吉田
電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883
E-mail: info@unwto-aptec.org